



「シリーズ」仏像のみかた

第一回 着衣から「袈裟、よろい」

茅ヶ崎 太陽の郷にお住いの水野敬三郎さんがお話しください。「仏像のみかた」(全3回)の文化教室が昨年、大変「好評のうちに行われました。そこで、「こちらの「太陽の郷だより」紙面でもぜひご紹介したく、今回から3回にわたって、水野さんにご執筆いただきます。

天皇三十一年(六二三)止利仏師



正面観では大衣の端を左前腕にかけている釈迦如来像

が造った法隆寺金堂釈迦三尊像をまず取り上げます。

中尊釈迦如来像の大衣(袈裟)の着方は正面から見ると、中国北魏時代後期(五世紀後半)に生れた漢民族式の着方のように、体の前をめぐる大衣の端を左前腕に懸けているように見えます。しかし側面背面に廻つて見ると、実は中国で少し後の年代にあらわれる、大衣の端を左肩に懸ける変化形式となつてい

る。中国や朝鮮半島の像にはないユニークな形式です。多分止利仏師やこれを造らせた権力者は厳しい精神性の表現を求め、それに適した漢民族式着衣の形を正面観に採用しながら、その形を正確に理解する手本に乏しく、変化形式の背面の形を借りて、辻褄を合わせたのでしよう。初めて仏像を造った時期の作者の苦心が偲べれます。

こうして生まれた折衷形式

ですが、実際にこのように着るには無理がある。しかし、衣文の流れや曲線は現実離れた抽象的なものですが、みごとなデザインで、すぐれた造形表現に達しています。

東大寺戒壇院四天王像など 天平時代の神将像にみる甲

同じようなことが、有名な東大寺戒壇院四天王像など、天平時代の神将像の甲の形について言えます。中国の唐時代に完成した甲は、胸、腹、背、腰以下の各部を別々につくり、動きが自由で機能的です。形としてそれをまねた天平の甲は背中から腰廻りまでワンピースとし、臍を金属の板で守る護臍円護にあたる部分と急所を守る部分とを一枚の板に仕立てるなどの改変をします。実戦での激しい動きに耐えられるか不安ですが、格好いいデザインであることは確かです。日本美術の底流の一端がうかがえるでしょう。



水野敬三郎氏略歴。東京芸術大学名誉教授。新潟県立近代美術館名誉館長、半蔵門ミュージアム館長。日本の仏教美術史学者。著書「奈良・京都の古寺めぐり-仏像の見かた」など多数。

延焼火災の「広域避難場所」に指定されました!

木造家屋が密集し、道幅の狭い道路が多い茅ヶ崎市は、地震によりひとたび火災が起こると、火元から周辺へ次々と燃え広がる延焼拡大の危険が高い都市構造であると言われていています。そこで、万が一、市内で延焼火災が発生した場合、市民の皆さんが緊急避難する「広域避難場所」が市内に指定されていますが、この度、茅ヶ崎 太陽の郷の敷地内(原則屋外)を「広域避難場所」として提供することで、市との協定を結びました。

緊急事態の備えとして、太陽の郷の広大な敷地を活用いただき、地域の皆様の一助となれば幸いです。

広域避難場所



第2回  
植栽

人と自然との架け橋が植栽の仕事



右から佐々木さん、落合孝和さん、太陽の郷の庭園を20年以上手入れしてくださっている高柳栄夫さん。

庭園のお手入れに携わっている植栽担当スタッフは、毎回、「花だより」のコーナーも担当しています。今回は代表して、佐々木力つとむさんに聞きました。

**恵まれた環境で働ける 何よりの喜び**

太陽の郷は南に湘南の海、北に丹沢連山、西に富士、そしてその名の通り東から昇る太陽の穏やかな日差しと、とても恵まれた環境にあります。およそ9000坪の庭園が広がり、その庭園には茅ヶ崎市の貴重な文化遺産である南湖院時代の第一病棟や、関東の富士見百景に選ばれている富士見の丘などがあ

ります。こんな素晴らしい場所で毎日働けることは、私にとって、とても幸せなことです。

**創始者・高田先生の理念 自然との共存を大切に**

私が庭の手入れで一番心掛けていることは、太陽の郷の創始者である高田準三先生より引き継がれた「自然流」です。つまり、人と自然とが共存できる環境をつくるということです。

土や緑が減少している今、これだけの自然が残る環境は大変貴重です。私の仕事は、人と自然との架け橋だと思っています。人にとって住みやすく、そして自然にもやさしい、そんな庭づくりができれば幸せです。

天気の良い青空の日、しとしとと降る雨の日、物思いにふける日・・・と、人生には色々な日がありますが、ぜひお庭に足を運んでみてください。何か、新しい発見があるかもしれません。



福寿草

花言葉：幸せを招く



旧暦の正月前後に黄色い花を長く咲かせるので、福寿草（フクジュソウ）といった縁起の良い名が付けられたようです。昔から南天の実と合わせ、「難を転じて福となす」といった意味で寄せ植えに使われます。

路の臺

花言葉：待望、仲間



早春、路の地下茎から伸びる若い花茎を、路の臺（フキノトウ）と呼びます。花が咲く前の若いつぼみは、春を告げる山菜です。路の原産地は日本、朝鮮半島、中国などで、大根やカブと同様、古くから食されていたようです。



食堂から続くテラスには季節の花が咲いています。黄色の花はレンギョウ(連翹)、白は雪柳。

ご昼食付見学会開催

予約制・参加無料

4月18日水・20日金・23日月

現在新たに10室のリフォーム中で、5月下旬に完成予定です。事前見学として、ぜひ一度お越しください。

※日時をご予約の上、お越しください。※シャトルバスのご利用が可能です。金曜日4便が増えて、便利になりました！※上記日程以外のご見学も、お気軽にお問い合わせください。

(公社)全国有料老人ホーム協会 会員

住宅型有料老人ホーム

茅ヶ崎 太陽の郷

お問い合わせ・見学のお申し込みは

☎ 0120-710-728

茅ヶ崎太陽の郷

検索

住所：茅ヶ崎市南湖7丁目12869  
交通：JR茅ヶ崎駅南口よりバス停「仲町」下車徒歩約8分  
事業主体：一般社団法人 南湖荘 TEL.0467-87-0819

ホームページもご覧ください！